

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	政治	担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	現代日本の政治及び国際政治の機能や体制等、テキストやプリント、またパワーポイントのスライドや映像教材などを活用し、授業を展開する。また、問題演習を通して各項目の理解を深めていく。				
到達目標	①現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を修得する。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	政治授業オリエンテーション、政治の基本概念			1
	2	近代国家の基本原則、国家形態(夜警国家、福祉国家)			2
	3	国家論(社会契約説)、政治制度論、権力分立論、議院内閣制(イギリス、日本)			1
	4	政治制度論、大統領制(アメリカ、フランス、ドイツ)			2
	5	政治過程論 政党制、選挙制度			1
	6	政治過程論 日本の選挙制度、圧力団体			2
	7	日本国憲法の特徴 明治憲法、日本国憲法の三大原則			2
	8	基本的人権総論 人権保障の歴史、公共の福祉、国民の三大義務			1
	9	包括的基本権(幸福追求権、新しい人権、平等権)			1
	10	精神的自由権			1
	11	社会権			2
	12	能動的権利と受益権			2
	13	憲法改正の手続き			2
	14	国会の機能と運営			1
	15	内閣の機構と運営			2
	16	裁判所の機構と運営			2
	17	地方自治			2
	18	時事問題			3
	19	問題演習			12
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				42
教科書	大原出版株式会社 政治 テキスト・問題集・解答・レジュメ				
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度 復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※60分程度				
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	経済	担当者	新崎	科目必修区分	必修
授業概要	現代の日本及び世界の経済の動向、現代経済の仕組みや機能などについて、テキストやプリント、またパワーポイントのスライドや映像教材などを活用し、授業を展開する。また、問題演習を通して各項目の理解を深めていく。				
到達目標	①現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を習得する。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目ガイダンス(経済に関する知識の確認、到達目標の確認等)			1
	2	経済社会の変容と経済体制			2
	3	現代の企業			2
	4	現代の市場			2
	5	国民所得			1
	6	経済成長と景気循環			1
	7	通貨制度と金融制度			2
	8	財政制度と財政政策			2
	9	貿易と外国為替			2
	10	日本経済の動向			3
	11	国際経済の動向			2
	12	問題演習			11
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				31
教科書	大原出版株式会社 経済 テキスト・問題集・解答・レジュメ				
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度				
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	社会	担当者	末吉 彩	科目必修区分	必修
授業概要	社会の仕組みや、環境問題や国際関係、時事問題についての基本的な知識を身につける。				
到達目標	①社会の仕組みについて述べることができ、環境問題や国際関係、時事問題についても知識があることを証明することができる。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会理論についての講義			1
	2	労働問題についての講義			2
	3	社会保障についての講義			2
	4	環境問題についての講義			3
	5	国際関係についての講義			4
	6	現代の諸相についての講義			4
	7	問題演習			4
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				20
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答、プリント				
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度				
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度				
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価				
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	倫理		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の特徴について、テキストとパワーポイントのスライドを活用し、授業を展開する。また、問題演習を通して各思想に対する理解を深めていく。					
到達目標	①東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の学習を通し、人間存在や人生の意味や価値に関わる課題について深く考察し、自己の人間形成に努める実践的意欲を高めることを目標とする。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	科目オリエンテーション 第1章 西洋思想の源流 第1節 ギリシャの思想				1
	2	第1章 西洋思想の源流 第2節 キリスト教の思想				2
	3	第2章 西洋の近代思想 第1節 ルネサンスと宗教改革				1
	4	第2節 経験論と合理論				2
	5	第3節 社会契約説 第4節 功利主義				1
	6	第5節 ドイツ観念論				2
	7	第6節 社会主義 第3章 現代思想 第1節 プラグマティズム				1
	8	第2節 実存主義				2
	9	第3節 精神分析学・心理学 第4節 フランクフルト学派				1
	10	第5節 構造主義 第6節 文明論(歴史学・人類学)				1
	11	第7節 ヒューマニズム 第8節 フェミニズム				1
	12	まとめテスト 西洋思想				1
	13	第4章 東洋思想の源流 第1節 仏教				2
	14	東洋思想の源流 第2節 中国の思想 諸子百家と儒学の発展				2
	15	第5章 日本の思想 第1節 古代日本思想 第2節 日本的仏教の形成				1
	16	第3節 日本の儒学 第4節 国学と洋楽				1
	17	第5節 民衆の思想 第6章 日本の近代思想 第1節 啓蒙思想				1
	18	第2節 キリスト教思想 第3節 明治後期から大正期の思想				2
	19	まとめテスト 東洋思想				1
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					26
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度 復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	世界史	担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	世界各国の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷についてテキストやパワーポイントのスライド、その他視覚教材等を活用し、授業を展開する。また、問題演習を通し、より理解を深めていく。				
到達目標	①世界の歴史の大きな枠組みと展開を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、各国の各時代における立場を多面的に考察し、歴史的思考力を養う。 ②各分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目オリエンテーション、古代文明、四大文明、オリエント世界の動向			
	2	中国史(殷・周、秦・前漢)			2
	3	中国史(新・後漢・魏・晋・南北朝時代)			2
	4	中国史(隋・唐・宋)			2
	5	中国史(モンゴル帝国・元・明)			2
	6	中国史(清)			3
	7	中国史の確認テスト			1
	8	西洋史流れ(四大文明から冷戦まで)			1
	9	古代地中海世界(古代ギリシャ・古代ローマ)			2
	10	古代地中海世界(キリスト教の成立と発展) 中世ヨーロッパ(フランク王国と神聖ローマ帝国、ビザンツ帝国)			1
	11	中世ヨーロッパ(西欧封建社会とローマ教会、十字軍と封建社会の崩壊、 中世ヨーロッパ諸国)			2
	12	近代ヨーロッパの誕生(ルネサンス、大航海時代)			2
	13	近代ヨーロッパの誕生(宗教改革)、16-18世紀のヨーロッパ(西欧諸国の絶対主義)			2
	14	16-18世紀のヨーロッパ(イギリスの市民革命、18世紀の絶対主義と植民地戦争)			2
	15	古代～18世紀西洋史の確認テスト			1
	16	市民社会の成長(アメリカ独立革命、フランス革命)			3
	17	市民社会の成長(産業革命、ウィーン体制下の欧米)			2
	18	19世紀の欧米(ウィーン体制の崩壊、イギリスとフランス)			2
	19	19世紀後半の欧米(イタリア・ドイツの国家統一、ロシアの近代化、アメリカ合衆国の発展、19世紀の文化)			2
	20	第1次世界大戦(帝国主義と列強諸国、列強による世界分割、第1次世界大戦とロシア革命)			2
	21	ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動(ヴェルサイユ体制)			2
	22	ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動(アジアの民族運動)			2
	23	第2次世界大戦(世界恐慌、ファシズムの台頭、第二次世界大戦)			2
	24	第2次世界大戦後の世界(冷戦と民族運動、冷戦の変化と多様化、冷戦の終結)			3
	25	周辺諸国の動向(朝鮮、東南アジア、インド、東西交流)の講義			2
	26	イスラム世界(イスラム世界の成立と発展、イスラム世界の分裂、インドのイスラム化とムガル帝国)の講義			2
	27	問題演習			3
	合計時間数				53

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	世界史	担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集・解答解説、実践問題集・解答解説、ドリル				
時間外学習	スタンダード問題集、実践問題集を使用し、問題演習を反復すること。				
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	日本史	担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
授業概要	日本の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷、諸外国との関係を学び、現代の日本の成り立ちを理解する。				
到達目標	1. 我が国の歴史を世界史や地理的条件と関連付け、総合的な歴史観を身に着ける。 2. 日本の伝統、文化、国民性を理解し、歴史を通して主体的思考力を養う。 3. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
1	縄文・弥生・古墳時代の講義				1
2	聖徳太子、天智天皇、天武天皇、持統天皇の政治について講義				1
3	奈良時代の政治について講義				1
4	摂関政治・院政について講義				1
5	源氏と平氏の権力争いについて講義				1
6	鎌倉幕府の成立について講義				1
7	守護・地頭の仕事、承久の乱について講義				1
8	執権(3代北条泰時・5代北条時頼)について講義				1
9	元寇について講義				1
10	鎌倉幕府滅亡から南北朝統一までの流れについて講義				1
11	室町幕府の役職・しくみについて講義				1
12	室町時代の文化の特徴について講義				1
13	織田信長・豊臣秀吉の政治について講義				1
14	徳川家康(初代)・徳川秀忠(2代)の政治について講義				1
15	徳川家光(3代)の政治、鎖国体制について講義				1
16	徳川家綱(4代)・綱吉(5代)・新井白石の政治について講義				1
17	元禄文化・享保の改革について講義				1
18	田沼意次・寛政の改革について講義				1
19	各国の来航・天保の改革について講義				1
20	開国から条約締結、安政の大獄、桜田門外の変までの流れの講義				1
21	薩摩・長州藩の動き、大政奉還から戊辰戦争までの流れについて講義				1
22	明治政府の様々な政策について講義				1
23	自由民権運動の流れについて講義				1
24	条約改正の中心人物と政策について講義				1
25	日清戦争、日露戦争の内容について講義				1
26	大正期の各内閣(桂園時代、大隈重信内閣、寺内正毅内閣、原敬内閣)の政策について講義				1
27	大正末期(高橋内閣・清浦内閣・加藤高明内閣)、昭和初期(若槻内閣・田中義一内閣)の政策について講義				1
28	世界恐慌から日中戦争までの内閣の政策について講義				1
29	GHQと戦後の内閣の政策について講義				1
30	戦後の内閣(高度経済成長期～平成)の政策について講義				1
31	時代別演習問題・通史演習問題・確認テスト				4
合計時間数					34

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	日本史	担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル				
時間外 学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。				
成績評価 方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地理		担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
授業概要	日本や世界の環境や文化、地形の成り立ち等を学び、地域的、社会的な構造を学ぶ。					
到達目標	1.地政学的視野を身に着け、現代世界の諸問題について考察することができる。 2.諸外国の地誌と歴史を学び、地理的な位置関係を踏まえ、多様な価値観を身に着ける。 3.評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	自然環境と地図、地形・山脈の分類				1
	2	侵食平野・堆積平野・氷河地形				2
	3	気候・土壌（熱帯・乾燥・温帯・冷帯・寒帯・高山）				4
	4	食料の生産（アジア・ヨーロッパ、北米・南米・オセアニア地域の農業）				2
	5	エネルギー資源と原料資源（電力・主要炭田・主要油田の位置関係）				1
	6	エネルギー資源と原料資源（工業化と工業地域・主要資源山地の位置関係）				1
	7	工業化と工業地域（主要資源山地の位置関係）				2
	8	地図の特色と利用（メルカトル図法・正距方位図法）				1
	9	生活と地域（村落と都市、人口の地域的特色、国土と住民、交通・通信の発達世界の環境問題）				2
	10	日本の地理 日本の国土（自然環境・気候）				1
	11	世界の国々 中国・東南アジア（地誌）				2
	12	世界の国々 南アジア・西アジア（地誌）				2
	13	世界の国々 アフリカ（地誌）				1
	14	世界の国々 ヨーロッパ（地誌）				2
	15	世界の国々 アングロアメリカ（地誌）				1
	16	世界の国々 ラテンアメリカ（地誌）				2
	17	世界の国々 オセアニア（地誌）				1
	18	演習問題				5
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	合計時間数				33	
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	授業で学ぶ国の地図上の位置を把握する。					
	授業で学んだ項目の演習問題に取り組む。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(15P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
	実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	物理		担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	授業を通し身近な物質の性質と物体の運動など、公務員に求められる教養としての物理を学び、基本的な知識を身につける。					
到達目標	1. 物理に関する知識を他者に説明することができる。 2. 文章から問題出題者の意図を理解し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことができるようになる。 4. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーションとしてモーメント・滑車・浮力の計算				1
	2	波の性質と音にまつわる現象				1
	3	光にまつわる様々な現象				1
	4	①オームの法則や合成抵抗の計算式による電圧や電流、抵抗値の算出方法 ②電力の算出方法				1
	5	熱量に関する法則による温度や比熱の算出方法				1
	6	加速度のある運動での移動距離				1
	7	初速度がある運動での移動距離				1
	8	自由落下・投げ上げなどの運動				1
	9	水平投射や斜方投射の際の時間や水平距離や高さ				1
	10	相対速度の算出方法				1
	11	力のつり合いの関係から力の大きさや重さの算出方法				1
	12	三角形の比を用いての力の大きさの算出方法				1
	13	摩擦力の関係式による力の大きさや摩擦係数の算出方法				1
	14	浮力の関係式による浮力の大きさや重さ、体積の算出方法				1
	15	①圧力の単位の返還方法 ②水深と水圧の関係による水圧の算出方法 ③パスカルの原理による、力の大きさや重さの算出方法				1
	16	滑車とモーメントの応用問題				1
	17	①ニュートンの運動の3法則 ②運動方程式による加速度と張力の算出方法				1
	18	①物理で定義される仕事の算出方法 ②力学的エネルギーの算出方法 ③力学的エネルギーの保存の法則による速度の算出方法				1
	19	①運動量保存の法則による速度の算出方法 ②跳ね返り係数の関係式による速度の算出方法				1
	20	ドップラー効果の関係式による、観測者が聞く音の振動数の算出方法				1
	21	確認の総仕上げテスト				1
	合計時間数					21
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身につくまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	化学		担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	公務員の職務遂行に必要とされる一般教養の科学分野の基礎理論を中心に講義をする。主に中学・高等学校で学ぶ化学を中心とし、物質の構造(原子・分子・元素など)や物質の状態(物質の三態や性質など)、物質の変化(酸化還元やイオンなど)について学ぶ。					
到達目標	1. 身近な化学について例を挙げて紹介することができる。 2. 化学 I の理論分野の問題を解くことができるようにする。 3. 上記化学分野の評価テストにおいて正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(身近な化学)				1
	2	食品の化学 テキストP179				1
	3	衣料の化学 テキストP186				1
	4	染料と洗剤の化学 テキスト190				1
	5	身近な材料 テキストP196				1
	6	石油化学工業 テキストP206				1
	7	環境の化学 テキストP210				1
	8	物質の分類 テキストP1				1
	9	物質の粒子 テキストP8				1
	10	元素の周期律 テキストP16				1
	11	化学結合 テキストP26				1
	12	物質の量 テキストP21				1
	13	物質の三態 テキストP34				1
	14	酸と塩基 テキストP62				1
	15	酸化と還元 テキストP70				1
	16	イオン化傾向 テキストP75				1
	17	確認の総仕上げテスト				1
	18	過去問解説 国家公務員・海上保安				1
	19	過去問解説 裁判所一般職				1
	20	過去問解説 刑務官・市役所・県庁				1
	21					
	22					
	23					
	24					
	合計時間数					20
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	生物		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	細胞の機能、各生物の特徴、体内のしくみなどの基礎的知識を身につけなければならない。その上で実生活に活用できる生物についての知識を習得する。					
到達目標	1. 生物分野に興味を持てるようになる。 2. 文章から問題出題者の意図を理解し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことができるようになる。 4. 上記生物分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	細胞小器官の各構造とはたらきの講義				1
	2	体細胞分裂と減数分裂の違いの講義				1
	3	各単細胞生物の名称・特徴、動物の組織の分類の講義				1
	4	酵素の特徴、働き、各消化酵素の基質の分類の講義				1
	5	好気呼吸、嫌気呼吸の各過程の特徴の講義				1
	6	陰生・陽生植物の光合成速度、光合成の進行過程についての講義				1
	7	窒素固定のしくみや根粒菌のはたらき、各消化酵素の作用についての講義				1
	8	メンデルの3つの法則、一遺伝子雑種、二遺伝子雑種のF1・F2の表現型についての講義				1
	9	不完全優性遺伝、致死遺伝子を含む遺伝、複対立遺伝子(ABO式血液型)、補足遺伝子を含む遺伝についての講義				1
	10	遺伝に関する研究者、タンパク質の合成過程について講義				1
	11	ヒトの神経細胞の各部位、ヒトの脳の各部位のはたらきについての講義				1
	12	動物の行動の実験についての講義				1
	13	循環系の血液の流れについての講義				1
	14	免疫のしくみ、肝臓の働きについての講義				1
	15	腎臓の働き、自律神経系の働きについての講義				1
	16	内分泌腺と動物・植物ホルモンの働きについての講義				1
	17	マカラスムギの幼葉鞘の実験、短日植物・長日植物についての講義				1
	18	各生存曲線の型、種間競争、すみわけの相互関係についての講義				1
	19	植生の遷移、生態系内での物質の循環についての講義				1
	20	示準化石と示相化石、進化説の各学者の考えについての講義				1
	21	スタンダード問題集・ドリル 解説				2
	22					
	23					
合計時間数					22	
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身につくまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地学		担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
授業概要	地球の内部構造・環境や太陽系の構成・宇宙の構造などの基礎的知識を身につけ、現代における自然災害や環境の変化の仕組みについて学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地学の基本的な原理・法則を学び、地学現象における探求心を高め、科学的視野を広げる。 2. 地学の基礎的な知識を元に、地球環境の変化から起こりえる自然災害等を推測し、解決策を考えることが出来る。 3. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章1 地球の形と内部構造				1
	2	第1章2①動く大地(大陸移動説・プレートテクトニクス)				1
	3	第1章2②プレート(海嶺・海溝・リソスフェア・アセノスフェア)				1
	4	第1章3① 地震(地震波・震源と震央)				1
	5	第1章3② 地震(走時曲線・地震の規模とエネルギー)				1
	6	第2章1 岩石(造岩鉱物・火成岩)				1
	7	第2章2 マグマ・火山(マグマの性質・火山)				1
	8	第2章3 堆積岩・変成岩(堆積岩の種類と変成作用)				1
	9	第3章1 大気と海洋(大気の種類と熱収支)				1
	10	第3章2 雲(断熱変化・雲の形成・フェーン現象)				2
	11	第3章3 地球をめぐる大気(風の原動力・風の吹き方)				1
	12	第3章4① 気象現象と日本の四季(高気圧・低気圧・前線)				1
	13	第3章4② 気象現象と日本の四季(台風・日本の四季)				1
	14	第3章5 海洋と海水(海水の状態、海水の垂直分布・海流)				1
	15	第4章1 太陽系と宇宙の構造 (地球の運動・自転と公転)				2
	16	第4章2① 太陽系と宇宙の構造 (太陽系と惑星・惑星の特徴)				2
	17	第4章2② 太陽系と宇宙の構造(惑星の運動・ケプラーの法則)				1
	18	第4章2③ 太陽系と宇宙の構造(太陽・太陽活動)				1
	19	第4章3 太陽系と宇宙の構造(恒星・HR図・恒星の進化)				1
	20	第5章 地球と人類 (地層の比較・示準化石・示相化石・地質年表)				2
	21					
	22					
	23					
	24					
	合計時間数					24
教科書	資格の大原 公務員講座 自然科学テキスト スタンダード問題集 ドリル レジューメ					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身につくまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理	担当者	片山 意大	科目必修区分	必修
授業概要	この授業では、公務員試験に出題される「数的処理」の対策として、国家一般職高卒者、地方初級、警察官、消防官の問題を分析して、各試験の合格レベルに到達できることを目標とする。使用するテキストは「問題編」と「解答編」の2分冊になっている。問題編で学習した後、解答編を参照することで実際に問題を解く力を身に付けることが望ましい。				
到達目標	公務員試験に出題される、方程式・割合・速さ・整数計算パズル・仕事算・場合の数・確率の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 方程式・不等式 第1節			1
	2	第1章 方程式・不等式 第2節			1
	3	第1章 方程式・不等式 第3節			1
	4	第2章 整数・計算パズル 第1節、第2節			1
	5	第2章 整数・計算パズル 第3節			1
	6	第2章 整数・計算パズル 第4節			1
	7	第2章 整数・計算パズル 第5節			1
	8	第2章 整数・計算パズル 第6節			1
	9	第3章 割合と比 第1節			1
	10	第3章 割合と比 第2節			1
	11	第3章 割合と比 第3節、第4節			1
	12	第4章 速さ 第1節、第2節			1
	13	第4章 速さ 第3節			1
	14	第4章 速さ 第4節、第5節			1
	15	第5章 その他の文章題 第1節			1
	16	第5章 その他の文章題 第2節			1
	17	第5章 その他の文章題 第3節、第4節			1
	18	第6章 場合の数 第1節			1
	19	第6章 場合の数 第2節			1
	20	第7章 確率 第1節			1
	21	第7章 確率 第2節			1
	22	第7章 確率 第3節			1
	23	スタンダード問題 第1章			3
	24	スタンダード問題 第2章			3
	25	スタンダード問題 第3章			3
	26	スタンダード問題 第4章			3
	27	スタンダード問題 第5章			3
	28	スタンダード問題 第6章			3
	29	スタンダード問題 第7章			3
合計時間数				43	

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理		担当者	片山 意大	科目必修区分	必修
教科書	数的推理[問題編・解答編]、スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]					
時間外 学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。 なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習		講義時期	前期
授業科目	判断推理		担当者	新垣		科目必修区分	必修
授業概要	判断推理の基礎問題から応用問題を解くことのできる力を身につけなければならない。特に「位置・方位」「論理」「対応」「順序」など各分野の解法習得を目的とする。したがって、公務員の職務を遂行する上で必要な判断推理能力を身に付ける。具体的には応用問題を解くための文章や表を正確に読み取る能力を養うものとする。						
到達目標	1.文章問題から問題出題者の意図を理解し、図化できるようになる。 2.講義や問題集における演習問題を解くことが出来るようになる。 3.評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	ガイダンス					1
	2	論理					3
	3	集合の要素の個数					4
	4	順序					3
	5	対応					3
	6	位置と方位					4
	7	勝ち負け(トーナメント戦・リーグ戦)					4
	8	ウソの発言					3
	9	推理・手順					3
	10	暗号					3
	11	チェックテスト					1
	12	論理・集合の要素の個数 演習					2
	13	順序・対応・位置と方位 演習					2
	14	勝ち負け・ウソの発言 演習					2
	15	推理手順・暗号 演習					2
	16	過去問演習					6
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
		合計時間数					46
教科書	資格の大原 公務員講座 判断推理編問題集						
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強すること。						
	復習の時間で問題の解き直し等に取り組むこと。						
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
	実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	空間把握・図形	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	公務員の職務を遂行する上で必要な平面・空間図形の処理能力の基礎を身に付ける。第8章までは平面・空間把握を主とし、第9章からは平面・空間図形の計量処理を主とする。				
到達目標	評価テストにて80%の正答率を目指す。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 折り紙 1.2.3 第2章 回転の軌跡 1.2			1
	2	第2章 回転の軌跡2.3.4.5 第3章 正多面体・展開図1.2.3			1
	3	第3章 正多面体・展開図4.5.6.7.8.9.10			1
	4	第4章 平面図形の構成1.2.3.4.5.6			1
	5	第5章 サイコロ1.2.3.4			1
	6	第6章 見取図と投影図・積み木10月.2.3.4.5.6.7.8.9			1
	7	第7章 立体の切断・回転体1.2.3.4.5.6			1
	8	第8章 一筆書き1.2.3 第9章 平面図形の計量1.2.3.4.5			1
	9	第9章 平面図形の計量6.7.8			2
	10	第9章 平面図形の計量9.10.11.12.13			2
	11	第9章 平面図形の計量14.15.16.17			2
	12	第9章 平面図形の計量18.19.20			2
	13	第9章 平面図形の計量21.22.23.24.25			2
	14	第9章 平面図形の計量26.27.28.29			1
	15	第9章 平面図形の計量30.31.32.33			1
	16	第9章 平面図形の計量34.35.36			2
	17	第10章 立体図形の計量1.2.3.4.5			1
	18	第10章 立体図形の計量5.6.7			1
	19	第10章 立体図形の計量8.9			1
	20	確認テスト			2
	21	公務員試験過去問解説			4
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				31
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル				
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	資料解釈		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	資料解釈分野を基礎的問題を解くことのできる数学力を身につけなければならない。実数や割合など数学の基礎的分野の解法習得を目的とする。その上で実生活に必要な資料や表の数値を読み取る能力を身につける。資料解釈の基礎を固め、次年度に行われる資料解釈Ⅱの基盤を整えることとする。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料読み取りに関する知識を他者に説明することができる。 2. 表から問題解答に必要な数値を見つけ出し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことができるようになる。 4. 上記分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1節 実数 資料解釈の性質・解法				1
	2	第2節 割合・指数・前年比				1
	3	第3節 増加率				1
	4	第4節 いろいろな資料				1
	5	模擬試験解説。				11
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	合計時間数					15
教科書	資格の大原 公務員講座 数的推理編テキスト・問題集					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身につくまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	文章理解	担当者	古堅雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	実社会の業務に必要な文書読み取り能力向上に繋がる文章理解を文章の仕組の理解、要点を掴むことで身に付けさせる。また、ビジネス文書作成の基本となる作文を実践を重ね身に付けさせていく。				
到達目標	①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、言葉による見方、考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する力を育成する。また、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	文章理解 文と文章・指示語・接続語 別紙要点まとめプリント・問題演習・解説			1
	2	文章理解問題演習・解説(テキスト・実践問題集)			2
	3	作文の基本 作文の書き方・作文の構成・相手の共感を得るには			3
	4	文章理解問題演習・解説(テキスト・実践問題集)			3
	5	一般教養力検定試験 文章理解過去問演習・解説			3
	6	公務員試験過去問題演習・解説(公務員試験過去問プリント)			3
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				15
教科書	大原テキスト、実践問題集、模試問題、公務員試験過去問プリント				
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間で問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。				
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	公務員試験演習		担当者	少貳・森・崎原		科目必修区分	必修
授業概要	国家公務員及び地方公務員採用試験の模擬問題の演習を元に、公務員として必要な基礎的知識の理解及び定着を図り実践力を身に付ける。						
到達目標	1. 苦手分野の確認と克服。 2. 演習を繰り返すことで、公務員として必要な基礎的知識の定着を図る。 3. 公務員採用試験の1次試験合格。 4. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	ガイダンス					1
	2	直前模試 公務員総合第1回～第18回					54
	3	直前模試 公務員一般職第1回～第13回					39
	4	直前模試 地方初級 第1回～第18回					54
	5	全国公開模試 国家一般高卒程度 第1回～第3回					9
	6	全国公開模試 市役所・消防					3
	7	全国公開模試 警察官					3
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	合計時間数						163
教科書	直前模試(公務員総合・国家一般職・初級) 判定模試(秋受験・一般職) 公開模試						
時間外学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。						
成績評価方法	【出席(30P)】【授業態度(30P)】【評価テスト(40P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	演習・講義		講義時期	後期	
授業科目	情報科学演習(文書作成)		担当者	崎原 竜作		科目必修区分	必修	
授業概要	パソコンを操作するうえで最も基本的な”文字入力”をマスターします。文字が速ければ速いほど仕事の処理能力にも直結します。自己流の打ち方(俗にいう”癖”)ではいつか限界が来ます。正確なタッチメソッド(運指法)を学ぶことで練習量に比例した成長が出来る基礎を作ります。							
到達目標	①キーボードを見ずに”タッチタイピング”が出来、10分間で”300字以上”の文字入力出来る。 ②Microsoft Wordの基本機能を使い、”通信文のルールに沿った”バランスの良い書類を作成することが出来る。 ③ワープロ検定3級以上の合格を目標とする。							
授業計画	内 容							授業時間数
	1	スケジュール確認、PC環境の確認、アプリケーションの準備(MIKATYPE)						1
	2	ポジション練習①(MIKATYPEを使用してタッチタイピングの徹底)						3
	3	ポジション練習②(課題:ホームポジション→上段→全段)						3
	4	ポジション練習③(ローマ単語練習)						3
	5	速度練習①(速度試験ルールを学ぶ)						2
	6	速度練習②(各受験級の設定文字数超えを目指す)						3
	7	通信文練習①(各級ごとの通信文試験のルールを学ぶ)						3
	8	通信文練習②(時間内にバランスよく仕上げられるように練習)						3
	9	総合練習(速度試験、通信文試験を時間内に基準点超えを目指す)						3
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	合計時間数							24
教科書	プリント							
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。							
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	教員		備考					

実務経験紹介	
--------	--

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	情報科学演習(表計算)	担当者	仲里 優子	科目必修区分	必修
授業概要	・表計算ソフト(Microsoft Excel)を用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とソフトの基本操作を身につけ、就職後にその機能を活用できる人財を目指す。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表計算処理(四則演算・関数など)ができる。 ・グラフや図形を用いて実務的な書類を作成できる。 ・Excel検定3級合格を目標とする。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション 表計算ソフトとは セルに入力できるデータの種類 四則演算 数式のコピー			2
	2	表作成 いろいろな貼り付け 列幅・行高の設定 罫線			2
	3	セルの書式設定 (フォント 配置 表示形式)			2
	4	オブジェクトの作成 (図形の作成 ワードアート)			2
	5	関数①(SUM AVERAGE MAX MIN) 数式のコピー(書式なしコピー)			2
	6	確認演習 練習問題1 問題1～問題2の(4)まで			2
	7	関数②(ROUND IF) 確認演習(練習問題1 問題2(5)～(10)まで			2
	8	データベース(テーブルとして書式設定 フィルタ 並べ替え) 確認演習 練習問題1 問題3			2
	9	グラフの作成 確認演習 練習問題1 問題4			2
	10	印刷設定 確認演習 練習問題1 問題5 スパークライン 関数確認問題			2
	11	練習問題1			2
	12	練習問題2			2
	13	練習問題3			2
	14	模擬問題1			2
	15	模擬問題2			2
	16	模擬問題3			2
	17	模擬問題4			2
	18	模擬問題5			2
	19	模擬問題6			2
	20	模擬問題7			2
	21	サンプル問題			2
	合計時間数				42
教科書	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)				
時間外 学習	授業時間内未消化問題の演習				
	タイピング能力の向上				
成績評価 方法	出席(5P)、確認テスト(5P)、授業態度(5P)、提出課題(5P)、評価テスト(80P)で評価				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	コンピュータ関連企業にて企業インストラクター歴1年6カ月			

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	演習・講義		講義時期	後期	
授業科目	ビジネスマナー		担当者	瀧石 智美		科目必修区分	必修	
授業概要	実社会では、様々な方との関りで業務を進めていくため、社会人としての心構えとビジネスマナーを身に着ける必要があります。公務員面接採用試験対策を踏まえ、事務職や接客業に付随する業務を、実技を交え「知っている」ではなく「実践している」を目指します。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちを持ち、柔らかい表情や丁寧な言葉づかいで接することができる ・感じの良い来客対応や電話対応ができる ・個人情報の取り扱い方、事務関連業務の種類と適切な対応が分かる 							
授業計画	内 容						授業時間数	
	1	合格発表後の採用面接試験に向けて(ビジネススーツ着用) ・身だしなみ ・態度振る舞い ・言葉遣い ・官庁訪問の電話予約					2	
	2	社会人としての心構え ・自己紹介 ・言葉遣い(敬語の知識)					2	
	3	来客対応①(基本動作)(実技評価試験) ・接遇の重要性 ・受付(名刺の取り扱い) ・飲み物接待					2	
	4	電話対応① ・基本の流れ ・不在時の電話対応 ・伝言メモ作成 (実技評価試験に向けた個人練習)					2	
	5	電話対応②(実技評価試験) ・不在時の電話対応(伝言メモ作成)					2	
	6	個人情報の取り扱い方 ビジネス文書の知識(書類の種類、押印、郵便の知識)					2	
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	合計時間数						12	
教科書	実践ビジネスマナー(ウィネット)							
時間外学習	授業で理解し習得した内容を日々活用する							
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	実務家		備考					
実務経験紹介	OA機器・自動車販売系企業での営業職歴 4年							

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、学生の手引き読み合わせ、校長講話、リレーションエクササイズ			6
	2	【ヒューマンスキル合宿】 チームビルディングを学ぶ			8
	3	【新入生歓迎会】 大原・エルケア合同の全体スポーツ大会			6
	4	【ビーチパーティ】 大原・エルケア合同のビーチパーティ			6
	5	スポーツ実習			2
	6	メディアリテラシー			2
	7	作文演習			2
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				32
教科書					
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。 前後の各実施委員会活動に参加すること。				
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価する。 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	脳力開発	担当者	島袋 松秀	科目必修区分	必修
授業概要	<p>◆心と体の健康を保ち、どのような状況においても健康で、いきいきと実力を発揮するための脳の力の活かし方と学ぶ。</p> <p>◆脳科学に基づいた目標達成、願望実現を可能にする集中力や記憶力などメンタル面の強化法を学び実践できる。</p>				
到達目標	<p>①心穏やかに対処できるメンタリティーを養う。(ポジティブ思考の形成)</p> <p>②ビジョントレーニングにより、「速読」につなげる。</p> <p>③右脳が得意とするイメージ力・高速処理能力・直観力を高める。</p> <p>④メンタルウェルネストレーニング基礎課程修了認定試験合格を目標とする。</p>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ビジョントレーニングについて、高速学習(脳活訓練)測定			1
	2	メンタルトレーニングについて、メンタルチェック①、交流分析について			1
	3	脳について・速読について			1
	4	成果の出る脳力開発のポイント・<目標設定①>			1
	5	段階的リラクセス法①(緊張→リラクセスの反射の形成)			1
	6	ビジョントレーニングの基礎トレーニング			1
	7	ビジョントレーニング<実践編> 速読につなげる			1
	8	アイトレーニング・周辺視野について			1
	9	イメージ力の強化①			1
	10	速聴について、高速学習(脳活訓練)			1
	11	目標設定について①			1
	12	記憶術について(テクニックを学ぶ)			1
	13	自己コントロール①「中和公式」本番に強くなる			1
	14	ストレスの克服①			1
	15	ビジョントレーニング <思考編> 問題解決能力向上			1
	16	諦めないメンタルの形成①			1
	17	自己コントロール②「強化公式」本番に向けて			1
	18	リラクセスとの言葉、イメージの条件付け			1
	19	諦めないメンタルの形成②			1
	20	世界の一流企業が実践しているメンタルトレーニング法			1
	21	目標設定について②			1
	22	段階的リラクセス法②(本番で力を発揮する)			1
	23	イメージトレーニングの応用①(本番に強くなる)			1
	24	メンタルウェルネストレーニング基礎課程試験対策①			1
	25	メンタルウェルネストレーニング基礎課程試験対策②			1
	26	メンタルウェルネストレーニング基礎課程試験対策③			1
	27	メンタルウェルネストレーニング基礎課程修了認定試験			1
	28	世界の一流企業が実践しているメンタルトレーニング法			1
	合計時間数				28

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	脳力開発	担当者	島袋 松秀	科目必修区分	必修
教科書	脳力開発教材セット				
時間外 学習	授業で学んだイメージトレーニング法やビジョントレーニング、自律訓練法などを日々の生活の中で実践すること。				
成績評価 方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【評価テスト・レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価する。 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	一般社団法人 メンタルウェルネストレーニング協会トレーナー(現職)				

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・実習	講義時期	通年
授業科目	公務員の職務と倫理	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	素直、明朗、気配り、感謝、プラス思考など普遍的な価値について学んだ上で公務員に求められる倫理について考え、個々人の志を立てるための精神的基盤を整える。				
到達目標	公務員として求められる資質について理解を深め、公務員として活躍するために必要な素直さや気配り、プラス思考などの素養を身につける。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目オリエンテーション			4
	2	感謝する心の大切さについて			3
	3	官民の「協働」の意味について			2
	4	公務員に求められるモラル・マナーについて			2
	5	表情や態度の印象が与える影響について			2
	6	よりよい人間関係を築く「挨拶」の重要性について			2
	7	成長するために必要な「素直さ」について			2
	8	プラス思考について			2
	9	目標設定と目標達成力について			2
	10	「永久戦力(活躍し続ける人材)」になるために必要な能力と考え方について			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				24
教科書	志学テキストⅠ・Ⅱ、教員配布資料、DVD教材、Q&A 国家公務員倫理法・倫理規程(人事院)				
時間外学習	各省庁ホームページ、パンフレット等で職務研究、情報収集を行うこと。				
成績評価方法	出席(20P)【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、授業に取り組む姿勢や理解度を総合し、4段階(優・良・可・不可)で評価する。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・演習	講義時期	通年
授業科目	職業研究	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	官庁訪問、公務員及び民間企業の職業研究やインターンシップ、現職公務員及び公務員経験者や民間企業社員の講話、模擬面接等を通じ、社会人に求められる資質を高めることを目的とする。				
到達目標	志望する公務員や民間企業の職務内容に対する知識を持ち、業務遂行にあたり、求められる職業観や資質を高め、希望就職先の面接試験に合格できる基準を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	現代に求められる公務員像と公務員試験について			1
	2	コミュニケーションエクササイズ			4
	3	挨拶訓練と模擬面接			4
	4	職業講話			2
	5	集団討論とプレゼンテーション			4
	6	裁判所見学と裁判傍聴			4
	7	防衛講話(災害派遣活動と安全保障について)			3
	8	沖縄県庁及び沖縄県警察本部見学			4
	9	自衛隊基地見学			7
	10	公務員模擬面接演習			23
	11	NAHAマラソンによる地域活性化についての講話			1
	12	NAHAマラソンボランティア活動			8
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				65
教科書	各講義やプログラムでの配布資料				
時間外学習	各講義やプログラムの内容を確認し、インターネット等で講師のプロフィールや関係団体の活動内容について調べておくこと				
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価する。 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・演習	講義時期	後期
授業科目	卒業研究	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	就職先の職務内容や課題について考察し、また自らの就職活動についてまとめる。 現代社会の現状や課題を把握し、改善点を考察する。 パワーポイントを作成し、まとめた内容のプレゼンテーションを行う。				
到達目標	1. 研究の成果をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 2. 現状と課題を考察し、自らの考えを発言することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	「沖縄県が抱える諸問題」についての考察・小論文			2
	2	「日本と世界の諸問題」についての考察・小論文			2
	3	「メディア」についての考察・小論文			2
	4	「働くとはなにか」についての考察・小論文			2
	5	「教養を学ぶ意義」についての考察・小論文			2
	6	「歴史解釈の問題」についての考察・小論文			2
	7	就職先の職務内容の調べ学習・まとめ作業			5
	8	就職先の職務内容についてパワーポイントを作成し、発表する			8
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				25
教科書					
時間外学習	各小論文のテーマについて前もって調べておくこと				
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(20P)】【課題・発表(60P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					